

文翔館

BUNSHOKAN vol.57



(写真提供:山形県花笠協議会 撮影日:2018年8月6日)
山形花笠まつりについてのお問い合わせは山形県花笠協議会(023-642-8753)まで。

Information & Contents

文翔館コンサート事業／文翔館地域公演事業／文翔館創作公演事業
文翔館の日／時計塔見学会 レポート／スタインウェイを弾いてみよう レポート

特集「文翔館をめぐる街並みをたどって」

～定点写真から見る街の移り変わり～

文翔館見どころ案内 第16回／館長室から
Welcome to Hongmi Full etc...

山形県の夏の風物詩となった「山形花笠まつり」。始まりは1963(昭和38)年の「蔵王夏まつり」でした。当時はそのイベントの一環として花笠パレードが行われていましたが、1965(昭和40)年からは単独の「山形花笠まつり」として開催されています。毎年8月5日から7日の3日間、1万人を超える踊り手が華やかな群舞で夜の街を彩り、東北を代表する夏祭りのひとつとして数えられ、全国から多くの人に来場されています。文翔館はこのパレードのゴール地点で、食フェスタの会場としても賑わいを見せています。今年は3年ぶりに、山形市中心市街地の大通りを会場にパレードが行われます。

文翔館見どころ案内 第16回「文翔館に隠れる県のシンボル～鳥編～」

山形県のシンボルである「鴛鴦(オシドリ)」が文翔館に隠れているのをご存じですか?オシドリはカモ科の水鳥で、オスは独特の羽毛で美しく飾られています。昭和57年、県民の投票によって山形県の鳥に制定されました。さて、そのオシドリは文翔館のどこに隠れているのでしょうか。実は、敷地をぐるりと囲う石柵のうち4本にだけ、控えめに、けれど可愛らしく彫刻されているのです。文翔館の復原工事の際、山形のシンボルを受け継いでいこうと彫られました。よく見ると、線彫り、浮かし彫り、平彫りというそれぞれ違う技法で彫られているのがわかります。石柵は最上町で産出される「最上石(富沢石、笹森石)」という安山岩でつくられています。丈夫で火や酸に強いのが特長で、歴史的

な建物とよく調和することから、神社仏閣など多くの文化財建造物に使用されています。文翔館にいらっしやった時は、ぜひ探してみてくださいね!



東側

北側水路沿い

文翔館文化活動支援事業(ギャラリー助成金)

県内で活動するアマチュア文化団体または個人が文翔館ギャラリーを使用して実施する文化芸術の振興を目的とした優れた発表事業を対象に、施設利用料を最大3万円まで助成いたします。

事業実施期間:2022年4月1日～2023年3月31日
応募締切:事業実施の1ヶ月前まで(予算内で随時受付)
※要綱は文翔館事務室にて配布しています。(文翔館HPからもダウンロード可能)

～Welcome to Hongmi Full～

喫茶室「やまがたフルーツcafé Hongmi Full」のおすすめメニューをご紹介します!



塩コーヒ



クラシックフレンチ
クロワッサン

エスプレッソと甘じょっぱい塩クリームが相性抜群の1杯。エディブルフラワーの色鮮やかな飾りで、見た目も楽しんでいただけます!

Hongmi Full自慢の定番メニュー! 一から手作りしたバターが香るこだわりの生地

営業時間:10:00～16:30(L.O.16:00)
定休日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
TEL:023-635-9828

山形県ふるさと納税「山形応援寄附金」 山形県郷土館「文翔館」修繕事業寄附者ご芳名

小形 祐子様(神奈川県)	荒木 友里様(長崎県)	後藤 健志様(東京都)
松田 陽子様(神奈川県)	大野 暢史様(岐阜県)	大嶋 賢一様(愛知県)
吉村 光歩様(東京都)	山口 祥弘様(山形県)	菊池 邦生様(東京都)
佐藤 大和様(新潟県)	中村 享平様(大阪府)	小山 恵美様(宮城県)
中山 郁恵様(宮城県)	工藤 道弘様(埼玉県)	五十嵐祥二様(東京都)

【令和4年5月19日時点】

ご寄付いただきました皆様により御礼申し上げます。
山形県の文化遺産を後世へ継承するため、文翔館修繕に活用させていただきます。(問合せ:山形県文化スポーツ振興課 023-630-2306)

館長室から

令和4年4月から文翔館館長を務めている山口でございます。よろしくお願いたします。文翔館に着任して驚いたのは、毎日のように婚礼前撮りが行われていることです。純白のドレスを身にまとい、まばゆいばかりの笑顔を見せる花嫁さんの姿を見ていると、こちらまで幸せな気持ちになります。もちろん、ハンサムな新郎さんも幸せ一杯という雰囲気を周りに発散させています。婚礼前撮りの場所に選ばれているということは、県民の皆さんに愛され、誇りにされているからだと感じています。これは、旧県庁舎を保存・復元し、守られてきた方々、またその魅力を発信してきたガイドボランティアの方々の努力の賜物だと思います。これからも、文翔館の良さを守り、その魅力を伝えられるように、微力ではありますが努めてまいります。



文翔館からのお知らせ

休館日 第1・3月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

開館時間 9:00～16:30
8月4日～13日は18:30まで
開館時間を延長します。

文翔館
ホームページ>>>



※ガイドボランティアによる案内は一部制限付きで行っております。

文翔館

貸館のご案内

館内の冷暖房設備更新工事及び工事に伴う収蔵庫整理のため、7月からのギャラリーの貸館受付を中止しております。会議室、議場ホールについても使用できない期間がございます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほどお願い申し上げます。そのほか施設の空き状況等詳細については当館までお問い合わせください。



ギャラリー

会議室

議場ホール

編集後記

今年は3年ぶりに、山形市中心市街地で花笠まつりが開催されます。9月には文翔館も会場になっている「山形ビエンナーレ2022」が行われ、更には旧山形第一小学校校舎が「Q1」としてオープンします。今年の山形の夏は熱くなりそうですね!
(2022年7月14日発行 担当:松岡)

「文翔館vol.57」電子版とバックナンバーは「ヤマガタイブックス」にアクセス!>>>



■アクセス

山形駅よりベニちゃんバス中心市街地行き市役所南口下車徒歩5分
P 駐車場は文翔館の北側にございます。(無料・約40台)
※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
(割引サービスはございません。)

山形県郷土館



〒990-0047 山形県山形市旅籠町3丁目4番51号
指定管理者:公益財団法人山形県生涯学習文化財団
TEL 023-635-5500 FAX 023-635-5501
URL https://www.gakushubunka.jp/bunshokan/



文翔館の日

DAY OF BUNSHOKAN

2022年10月8日(土)

大人気企画の時計塔見学会やハロウィンナイトの他、文翔館の屋根にも使用されているスレートについての講演会、シルクスクリンプリント体験を開催予定! Hongmi Fullでは限定ドリンク販売も♪朝から夜まで文翔館で楽しもう!

※時計塔見学会、ハロウィンナイト、講演会は事前応募制。詳細は随時文翔館HP等でお知らせします。



昨年度「文翔館の日」より

文翔館時計塔内部見学会

2022年6月11日(土)

6月10日の「時の記念日」に合わせ、文翔館時計塔内部の見学会を行いました。精巧な時計装置にみなさん感動されていたようです!



キャットウォーク

文翔館開館以来、時計塔の保守管理を担う時計職人・榎谷二郎さん(右端)と、熱心に話を聞く参加者

屋根裏ドーマー窓からの景色

文翔館の日イベント

スタインウェイを弾いてみよう!

2022年7月2日(土)・3日(日)

議場ホールにて世界三大ピアノのひとつスタインウェイ&サンズ社製ピアノを独り占めできる人気企画を開催しました!



令和3年度文翔館企画展「やまがたの建築家と、文翔館をめぐる懐かしの街並み」番外編 文翔館をめぐる街並みをたどって

～定点写真から見る街の移り変わり～

令和3年度文翔館企画展で展示した資料から、文翔館とともに歩んできた山形市中心市街地の歴史を定点写真とともに振り返ります。

📍マークの写真はほぼ同位置から撮影された写真です。



初代山形県庁舎 建つ

明治10(1877)年



明治44(1911)年 山形市北大火

明治44年の市北大火は、住居、学校、県庁舎などの重要施設を街ごと焼つくした。大火後、道路が拡幅され商店街の復興が進む七日町大通り。右の建物は陶器店でのちの梅月堂。左手奥に蜂屋時計店の時計台がみえる。

旧山形警察署の前を練り歩く義経祭の仮装行列。戦国大名最上義光の三百年忌を顕彰して始まった祭りで、変わり神輿や山車が練り出し市街地をパレードした。工夫を凝らした仮装やパフォーマンスは沿道に詰めかけた市民を喜ばせた。

大正初期



七日町十字路から南を望む。左は山形で初めて牛肉料理を出した富貴亭(富田牛肉店)。右手前には自転車販売していた福嶋商会。



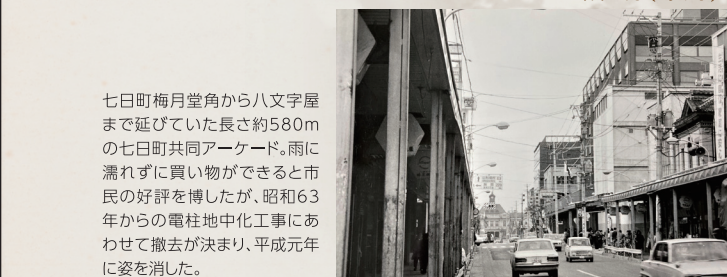
二代目山形県庁舎 上棟式
初代県庁舎と同じ場所に建てられた。(大正5年完成のちの「文翔館」)



昭和初期

左手の建物は山形交通のバス待合所と食堂。右手の建物は梅月堂で、その奥に旗を掲げた山形新聞社が見える。まだ車道と歩道の区別がない。

左上には「山形マツザカヤ」の看板が、右手奥には大沼デパートの看板が見える。アーケードが撤去されて10年が経過。見通しが良くなり明るくなった。



昭和45(1970)年

七日町梅月堂角から八文字屋まで延びていた長さ約580mの七日町共同アーケード。雨に濡れずに買い物ができる市民の好評を博したが、昭和63年からの電柱地中化工事にあわせて撤去が決まり、平成元年に姿を消した。



平成10(1998)年

山形県旧県庁舎および県会議事堂が山形県郷土館「文翔館」として開館

左手にはナナビーンズ。その前身である松坂屋や、セブンプラザ、coco21、大沼デパートといった大型店舗は軒並み閉店し、代わりに高層マンションが目立つようになった。



現在

現在ではこの大通りを会場に「山形花笠まつり」が開催され、賑わいを見せている。

表紙もチェック!

文翔館コンサート事業 会場: 議場ホール

辻彩奈&阪田知樹
デュオ・リサイタル

2022年7月23日(土)

15:00開演 チケット販売中
世界を舞台に活躍する若き天才演奏家。国際コンクール覇者の共演は必聴です!



©Ayuset

柳家花緑 独演会

2022年10月22日(土)

15:00開演 チケット発売日: 8月8日(月)
マルチに才能を発揮している人気落語家。スピード感溢れる歯切れのいい落語をお楽しみください!



©馬場道浩

森麻季
ソプラノ・リサイタル

2022年12月16日(金)

18:00開演 チケット発売日: 9月30日(金)
日本を代表するオペラ歌手が4年ぶりに文翔館に登場! 美しい歌声をご堪能ください。



©Yuji Hori

文翔館地域公演事業

山響ハートフルコンサート in 大石田

2022年12月2日(金) 大石田町民交流センター「虹のプラザ」
クラシック初心者でも親しみやすい楽曲を解説付きでお送りするコンサート。

山響とみんなで創る音楽会 in 大江

2022年12月21日(水) 大江町民ふれあい会館
山形交響楽団と地元音楽愛好家のみなさんとの共演で創り上げるコンサート。

オペラ

2023年2月19日(日) 高島町文化ホールまほら
山形交響楽団と山形オペラ協会によるオペラコンサート。



▲昨年度公演より

文翔館創作公演事業

朗読と音楽の散歩道
一音と言葉とやまがたと一(仮)

2023年2月11日(土)

遊学館 ホール/出演:朗読の会幻耶 他

朗読の会幻耶によるオリジナル作品や山形にちなんだ作品の朗読劇を、フルートとクラリネットの演奏とともにお送りします。



「朗読の会幻耶 第24回公演『朗読のひととき』(2021年)より▲